

文書館だより

TEL027(221)2346

URL <http://www.archives.pref.gunma.jp>

第56号

平成28年3月



〔天明三年浅間山噴火被害絵図〕＊彩色、縦 83.0 cm×横 116.7 cm
(狩野一郎家文書 P1303 No.1)

平成27年10月24日(土)より平成28年2月28日まで、当館ではロビー展示Ⅱ「真田氏と吾妻の諸街道」を開催しました(好評につき1か月延長)。

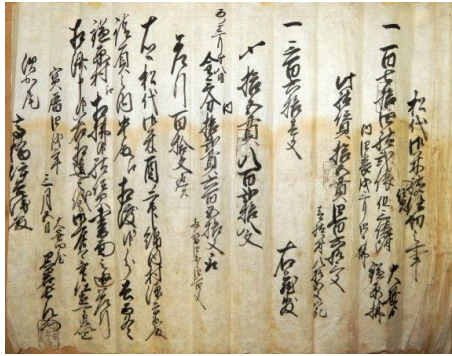
上図は、天明3年(1783)浅間山大噴火による泥流・降灰などの被害を描いた絵図で、写真パネルで展示しました。上野国を中心に武蔵国北部・秩父の武甲山まで描かれています。噴火した浅間山や泥流被害の吾妻川沿岸地域、降灰被害の中山道・下仁田道沿いの地域が強調されています。凡例の記載はありませんが、泥流被害地域はこげ茶色、降灰被害地域は薄茶色、街道は朱色、近くの山々は薄緑色、遠くの山々は薄藍色、被害地域周辺村々は薄黄土色に塗り分けられています。

また、子持神社・水沢観音・妙義神社・貫前神社・赤城神社・美和神社(桐生)などの社殿、大笹・狩宿・大戸・猿ヶ京・大渡・實政(さねまさ)・福嶋などの関所も描かれています。さらに吾妻川南・同川北の村々の被害状況が書き上げられています。上野国式内十二社、中山道五宿(軽井沢・坂本・松井田・安中・板鼻)の被害状況の記載もあります。

通常は、当館2階閲覧室において写真版で御覧いただけます。ぜひ御来館ください。

**平成27年ロビー展示Ⅱ
「真田氏と吾妻の諸街道」開催報告**

平成27年10月24日(土)より平成28年2月28日(日)まで、標記のロビー展示を開催しました。吾妻ゆかりの真田氏や吾妻の発展に大きな役割を果たしてきた諸街道に関する戦国期から江戸期にかけての古文書や絵図を展示しました。内容は、①真田氏と吾妻他、②信州街道(大戸通り)、③草津道、④中之条・原町などの諸道、⑤天明三年浅間山噴火被害絵図他、という5項目を設定し、計25点の古文書や絵図を展示しました。



松代御米駄賃仕切之事 (P1105 No.158)

主な展示史料は、①天正16年(1588)真田氏が吾妻の武士たちに対して現在の中之条町にあった横尾八幡城への守備を定めた「八幡山番帳」、②幕府

から大戸関所人改めの中へ出され、女性の関所通行などについて注意を促した元禄10年(1697)「関所手形書き載せるべき覚」、③草津入湯に関する明和七年「草津村役人関所手形判鑑(はんかがみ)届」④三国裏街道の継ぎ立てについて書き留めた寛政11年(1799)「佐渡御奉行山本伊予守様御先触写」、⑤天明3年(1783)の浅間山大噴火による吾妻川・利根川沿岸の泥流被害や中山道・下仁田道沿いの降灰被害を描いた

「天明三年浅間山噴火被害絵図」(表紙)などです。

会期中、計1629名の方に御覧いただきました。ありがとうございました。

**開館記念日関連行事開催報告
ぐんま史料講座②・展示解説会**

○ぐんま史料講座②

「武田信玄・勝頼と真田幸綱・昌幸」

講師：丸島和洋氏

(国文学研究資料館研究部特任助教)

本講座は文書館の収集する史料群の中から興味深い史料をテーマ別に紹介する講座です。今年度2回目のぐんま史料講座は、10月24日(土)に大河ドラマ「真田丸」の時代考証も務めている丸島氏を講師としてお迎えし、ご講演いただきました。次々と主君を変えたように

思われる真田氏ですが、お話を聞いてみると、戦国乱世において領国や家臣を守るために立ち回った真田氏の「国衆」としての姿が浮かんできます。また、小田原北条氏滅亡後に昌幸・信幸とともに所領を得た信繁(幸村)の「豊臣大名」としての一面を紹介していただきました。定員を大幅に超える応募者があった今回の講座。ご参加いただいた皆さんの熱心に耳を傾けられる姿が印象に残りました。

○展示説明会

同日、丸島氏による「ぐんま史料講座②」をはさみ、計4回にわたってロビー展示Ⅱ「真田氏と吾妻の諸街道」解説会を1階ロビー・展示室で開催しました。各回30分〜40分で、先述の項目ごとに解説しました。

当日は、延べ95名の方々にお集まりいただき、

中には複数回御参加いただいた方もいらっしゃいました。ありがとうございました。ございました。



展示解説会の様子

長期古文書講座・出前なんでも講座

●長期古文書講座

9月5日(土)から11月28日(土)まで毎週土曜日、全12回の講座を行いました。全12回の講座のうち、2回は外部講師を招いての講義でした。昨年度に引き続き近代を担当された丑木幸男講師は、難読漢字が多い近代文書について、ユーモアを交えつつ熱心に工夫を凝らした講義を行っていただきました。なお、受講者は3か月にわたる講座にもかかわらず大変熱心に学習され、最終的に60名が修了証を受け取りました。また、講座後半では、新しいプロジェクトエクターを導入する事が出来る事が出て、より学習しやすい環境になり、受講者の評判も上々でした。



長期古文書講座 丑木講師

●出前なんでも講座

平成27年度は昨年度より多い8件の申込を受けて講座を行いました(詳細は文書館HP参照)。地域の皆様はこの講

座が浸透してきたようで、県全体でも人氣講座の一つとなっています。来年度も同様の内容で行う予定です。どうぞよろしくお願ひします。

新規公開文書展
「藤岡市三波川 飯塚家文書と安中市五料 中島家文書」の概要

新規公開文書展は、当館が各年度ごとに新たに閲覧公開した文書の中から、特徴ある史料を選び展示するものです。平成27年度は、19件・11000点余りの古文書・マイクロ複製資料を閲覧公開しました。その中から今回は、「藤岡市三波川 飯塚家文書と安中市五料 中島家文書」というテーマで開催しています。飯塚馨家文書は、同家自宅で保管され



〔字中木 火元要右衛門家並に類焼家屋籠絵図〕
 (P8909 No.3627)

てきた戦国期文書などが、一昨年当館へ寄贈申請され、平成27年1月に寄贈受け入れとなりました。今回は戦国期文書を中心に展示します。一方、中島徳造家文書は、これまで3000点余りを公開していましたが、昨年9月さらに2445点を公開しました。両家の文書は、質量ともに県を代表する文書群です。

《展示史料紹介》
 飯塚馨家の戦国期文書8点と中島徳造家の近世文書8点の計16点を展示しています。

前者のうち、天文21年(1552)3月の北条家朱印状は、小田原の北条氏康から北谷(三波川)の百姓らに宛てた朱印状です。後者では、文化年間(1804-1817)の中山道沿いの姿が描かれた「碓氷郡五料村往還通絵図面」、碓氷関所関係文書、安中絹市関係文書、火災・水車設置願書などがあります。入場無料です。ぜひ御来館ください。

新たに収集した

古文書

◎前橋市・西片恭子家文書

上毛かるたの作成に携わった浦野匡彦氏の史料群。浦野氏は、寄贈者の西片恭子氏の父に当たります。上毛かるたの普及や群馬県同胞援護会の関係資料、群

馬文化協会の出版書籍など。190点。(寄贈)

◎伊勢崎市・久保田壽一家文書

旧佐波郡香林村の名主などを務めた久保田家に伝来した文書群。近隣の御林守を務めた関連から、香林村御林の伐木・運搬 納入に関わる文書が中心です。120点。(寄贈)

◎前橋市・角田利雄家文書

角田家が所蔵していた明治期の生産貯蓄組合の関係資料。組合規約名簿や貸付金利控簿などが中心となります。200点。(寄贈)

◎太田市・青木勝明家文書

山田郡丸山村(丸山宿)の代々名主であった青木家に伝来した文書群。村方文書や村絵図などを含み、総点数は7000点近くに及ぶと思われれます。(寄贈)

新たに閲覧公開の

古文書

◎前橋市・勝村敏子家文書

第二次公開分。近世・近現代の和書・典籍類と一部の帳簿類。中心となるのは、和書・典籍類約3500点で、内容は儒学・国学・仏教・史書・文芸など多岐に及びます。また、20数点の帳簿類は、明治・大正期の勝山家の質屋経営関係のも

年段階での町年寄の職務にともなって作成されたと推定される文書2点(No.3805、No.3815)なども含まれています。3543点、(P8702)

◎藤岡市・新井つね家文書

本文書群は、新井豊作氏の国勢調査員辞令・農業調査員辞令、新井タカ氏の群馬県女子師範学校卒業証書・美原尋常高等小学校訓導辞令、新井芳夫氏の群馬県立勢多農林学校卒業証書などです。

◎前橋市・松倉一平家文書

松倉喜重郎氏の常備兵服役、西南戦争従軍と戦死、その後の遺族への生活支援金などに関わる文書が中心。No.2「小坂子村・松倉喜重郎、西南戦争戦死埋葬通知書」(明治10年6月)は、喜重郎が西南戦争の熊本県保田窪村における戦闘で負傷し入院、死去したことがわかる史料です。6点(P0101)

◎吾妻郡草津町・横山秀夫家文書
 群馬県穀物検査所「大正10年度生産百俵以上受検者調」の1点。内容は、①支所別受検者数、②同俵数別、③同受検者名、となっています。大正期の米生産状況を知る上で貴重な史料です。1点(P00207)

◎前橋市・前沢一男家文書

『皇太子殿下渡欧 第三艦隊記念写真帖』の1点。これは、大正10年(192

1)、当時の皇太子(後の昭和天皇)が軍艦2隻で渡欧した際の記念写真帳・第三艦隊員名簿です。1点(P0080)

◎藤岡市・飯塚馨家文書

旧鬼石町の飯塚家に伝わった戦国期文書。同家文書は平成26年度には自宅にあった未整理文書等も含めて一括して群馬県に寄贈されました。これに伴い、飯塚家自宅に保管されていた天文21年(1552)の北条家朱印状を含む戦国期文書や近世初期の文書24点も当館に収蔵され、原本での閲覧が可能となりました。

24点、(P8214)



北条家朱印状
(P8214 No.12279)

◎兵庫県・熊谷次郎家文書
前橋藩酒井家に仕えた熊谷家の伝来文書。代々の役職に関わる藩方の文書、兵学・測量・諸国城絵図、漢詩・和歌などの和書、近代文書などを含みます。

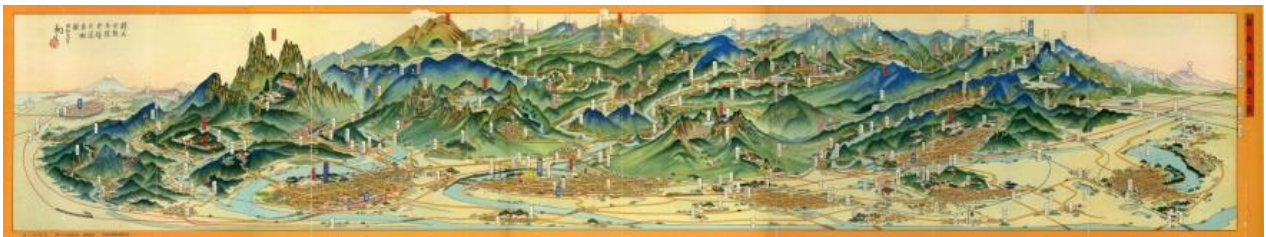
【マイクロ】

空から「ぐんま」を見てみると!?

「鳥になって、空から景色を眺めてみたい。」そんな思いをもったことがある人も、いらつしやることでしょう。自由に羽ばたく鳥のように、上空から見下ろした視点で書かれた図を「鳥瞰図(ちようかんず)」とよんでいます。

昭和11年に、群馬県勝地協会が作成したパンフレット『勝地群馬』には、当時の群馬県内の名勝・史跡・交通の様子が「鳥瞰図」で描かれています。群馬県が、昔から観光地の保護・開発に取り組んでいた様子が伝わるこの鳥瞰図。描いたのは、大正から昭和期にかけて活躍した絵師、吉田初三郎です。吉田初三郎が描く大胆なデフォルメを施した独特の鳥瞰図は、当時大変な人気を博し、日本各地で数多くの観光案内地図が作成されました。

当館にはこの群馬県鳥瞰図の他、伊勢崎市や桐生市、沼田市の鳥瞰図も収蔵しています。吉田初三郎が描いた鳥瞰図で、昭和期の県内の様子を空から眺めてみてはいかがでしょうか。



〔勝地群馬(群馬県鳥瞰図)〕 縦19cm・横103cm
昭和11年(郷土資料891226)

今後の行事予定

★展示★

●新規公開文書展

「藤岡市三波川 飯塚家文書と安中市五料 中島家文書」 5月29日(日)

●平成28年度テーマ展示1

「絵で見る近代のぐんま(仮)」

7月23日(土)～10月9日(日)

※展示室では常設展「文書館の仕事」も行っていきます。

★講座★

●古文書入門講座(土曜日…全5回)

6月4日～7月2日

◎定員60名 ◎資料代1000円

◎往復はがき・Eメールで受付

※募集開始は4月18日(月)からです。

●長期古文書講座(土曜日…全12回)

9月3日～11月26日

※募集開始は7月19日(火)からです。

事前申込が必要なものもあります。

詳細は文書館HPをご覧ください。

★休館のお知らせ

春期特別整理期間のため、休館いたします。

5月9日(月)～13日(金)

発行/群馬県立文書館

<http://www.archives.pref.gunma.jp>

題字/岡庭征人書